

## PatSnapのAI Agent最新動向と日本市場での展開

### PatSnapのAIエージェント「Eureka」シリーズの技術開発動向

特許情報や研究開発データの分析で知られるPatSnap（パットスナップ）は、近年生成AIを活用したAIエージェント機能の強化に注力しています。2025年には革新的なAIエージェント製品群「Eureka」シリーズを発表し、2025年をAIエージェントの元年と位置付けて知財、R&D、創薬、材料分野向けに新製品群を同時リリースしました<sup>1</sup>。この「Eureka」は、目標達成のために最適な手段を自律的に選択してタスクを遂行できる次世代AIエージェントであり、イノベーションのライフサイクル全体を支援するものです<sup>2</sup>。

PatSnapのAIエージェントは大規模な専門データと特化型AIモデルによって高精度なアウトプットを実現しています。例えば、**独自開発のLLM（大規模言語モデル）**は最先端のイノベーション関連データ**35億件以上**で訓練され、15,000件以上の実務ワークフローを組み込むことで、汎用的なLLMよりも**信頼性の高い回答**を生成できるといいます<sup>3</sup><sup>4</sup>。実際、PatSnapのLLMはChatGPTやGoogleのGeminiのような汎用モデルに比べ**幻影（ハルシネーション）の頻度を極めて低く抑えている**とされ、回答には出典情報も付与されるため企業の知財・R&D部門でも安心して活用できると紹介されています<sup>4</sup>。

**製品機能のアップデート**も多数行われました。従来のグローバル特許検索・分析プラットフォーム

「PatSnap Analytics」にはAI要約機能が搭載され、検索結果の要約提示やレポート生成が容易になっています<sup>5</sup>。また、新たに**新規性調査（ノベリティサーチ）**の自動化機能や、特許請求項の解釈支援、**クレームドラフト（明細書下書き）の自動作成補助**、Markush構造の自動分類など、知財業務を効率化するAI機能が追加されました<sup>5</sup>。これらはすべて生成AIを活用した「AI Agents」シリーズとして位置付けられており、特許調査から発明の創出・保護まで知財業務全般に変革をもたらすものと期待されています<sup>1</sup><sup>5</sup>。実際、2024年時点でPatSnapは自社のPatentGPTという生成AI技術を用いて、特許・論文データから技術動向レポートを自動生成したり、明細書自動作成を行う機能を披露していましたが<sup>6</sup>、2025年のEurekaシリーズ登場によりこれらがさらに洗練・統合された形です。例えば「Hiro」と名付けられたAIアシスタントはPatSnapのLLMと連携し、ユーザーの質問に正確かつ参考文献付きで回答する知財支援AIとして開発されており、発明届出書（Invention Disclosure）の自動作成を数分で行うなど大幅な効率化を実現しています<sup>7</sup>。

加えて、ライフサイエンス分野向けの「PatSnap Synapse」やBio、Chemicalといった製品も強化されています。Synapseは疾患・薬剤・分子標的などの情報を統合検索し、特許・論文・臨床試験データ・ニュース等から創薬や研究開発プロジェクトの発掘を支援するツールです<sup>8</sup>。Bioは配列情報の検索解析システムで、核酸・タンパク質配列の類似検索とそれに紐づく特許・論文・データベース情報を提供します<sup>9</sup>。Chemicalは2.5億件超の化合物データに基づき、構造ベースの特許・論文検索や物性情報検索を行えるプラットフォームです<sup>10</sup>。これら分野特化型のAIツール群も「Eureka」シリーズと連携し、専門家レベルの分析を数分で提供することで、従来数日かかった調査業務を飛躍的に短縮しています<sup>11</sup><sup>12</sup>。例えば、ある製造業企業ではPatSnapデータベースから技術課題解決のヒントとなる関連特許を探索し、新しい除去方法を設計した結果、処理時間を480分から235分に短縮できたケースも報告されています<sup>13</sup>。中小パイオ企業でも特許出願の履歴調査や競合技術分析に要する時間を数日から数分単位にまで削減できたといいます<sup>14</sup>。こうした具体例からも、PatSnapのAIエージェントが企業のR&D・知財活動にもたらす効果が伺えます。

### 日本市場におけるPatSnap導入事例とPatSnap Japanの活動

日本市場はPatSnapにとって近年最も成長著しい市場の一つです。実際、2024年時点で日本には**200社以上**の法人顧客があり、売上も前年から約58%成長するなど急速に普及が進んでいます<sup>15</sup>。世界の「最も革新的

な企業100社」のうち日本企業は30社を占めますが、そのうち24社が既にPatSnapの顧客となっていることから、日本企業からの高い支持がうかがえます<sup>16</sup>。シンガポール発のスタートアップでユニコーン企業となったPatSnapは、日本市場開拓のため**日本法人（PatSnap合同会社）**を設立し、本格展開を図っています<sup>17</sup>。東京・新橋に拠点を置くPatSnap Japanは営業・サポート体制を強化し、国内パートナー企業とも連携しながら顧客への導入支援や研修を行っています<sup>18</sup>。

導入事例として公表されているものに、**神戸製鋼所グループのコベルビジネスパートナーズ株式会社**があります。同社の産業情報部門はPatSnapのAIツールを活用して研究開発テーマの立案や技術動向の調査を行っており、その具体的な活用事例が2025年の知財イベントで紹介されました<sup>19</sup><sup>20</sup>。このように日本企業もPatSnapのAIエージェントを実務に取り入れつつあり、「発明の創出から特許取得、ライセンス、収益化に至るまで一貫したAI活用」を実現するケースが増え始めています<sup>21</sup><sup>22</sup>。特許事務所の分野でも、**中辻特許事務所**が生成AIと知財業務の可能性について言及するなど、知財プロフェッショナルからの関心も高まっています（※中辻特許事務所はPatSnapの直接導入事例ではありませんが、業界内でAI活用を展望する動きの一例です）。また、国内特許調査会社の**IPエージェント**はPatSnapのプラットフォームを活用した特許可視化・分析サービスを提供しており、顧客企業300社以上にソリューションを展開しています<sup>23</sup><sup>24</sup>。このIPエージェントはPatSnapの国内パートナー的存在で、2025年にはPatSnap最新機能のウェビナー共催や展示会での紹介を積極的に行いました。

PatSnap Japan自体の活動も活発です。2024年10月には東京にて**第1回「PatSnap Frontier Conference」**を開催し、国内外の専門家を招いて最新のAI知財ソリューション動向を紹介しました<sup>25</sup>。また、展示会出展にも積極的で、**CEATEC 2023**や**BioJapan 2023**に初出展し幅広い業界にアプローチしたほか<sup>26</sup>、**人とくるまのテクノロジー展2024**（横浜・名古屋）にも参加して製造業エンジニアにPatSnapのAI機能をPRしています<sup>6</sup>。特に2025年には国内最大級の知財イベントである「**知財・情報フェア&コンファレンス2025**」に出展し、大きな注目を集めました<sup>27</sup>。さらに、PatSnap共同創業者でアジア太平洋地域担当GMの**関馨（グアン・ディアン）氏**が、日本青年会議所主催の「JCI JAPAN TOYP 2025」において**経済産業大臣賞**を受賞するというトピックスもありました<sup>28</sup>。同氏は「AIを活用し知財・R&Dの専門家向けに高度なインサイトを提供するAI駆動型製品群を展開」した功績により表彰されており、日本社会においてPatSnapの取り組みが評価されつつあることを示す出来事でした<sup>28</sup>。

## 2025年「知財・情報フェア&コンファレンス」への出展内容

知的財産権・情報関連の展示会「**知財・情報フェア&コンファレンス2025**」（Patent Information Fair & Conference 2025）が2025年9月10日～12日に東京ビッグサイト西3・4ホールで開催され、PatSnapは日本法人として**ブース出展（小間番号W3-47）**しました<sup>29</sup>。このイベントは**過去最大の158社・団体が出展し、3日間で延べ15,207人が来場する**大規模なものとなり、生成AIを活用した知財業務効率化が今年の主役テーマでした<sup>30</sup>。PatSnapブースでも最新AI技術を搭載した知財ソリューションが紹介され、来場者の関心を集めました。公式出展者情報によれば、PatSnapは知財・R&D・創薬分野のイノベーションを支援するグローバル企業として、AIエージェント「**Eureka**」や知財AIツール「**Analytics**」等を含むソリューションを展示しました<sup>3</sup>。ブースでは実際のデモ画面を使いながら**生成AIによる特許検索・分析、技術動向レポート自動作成、明細書ドラフト作成**などの機能を紹介し、**最新の知財分析におけるAI活用の可能性**を来場者に体感してもらったといえます<sup>31</sup>。IPエージェントのレポートでも、ブース来訪者はPatSnapのAI技術による知財分析の将来性を感じ取ったとの声が述べられており<sup>31</sup>、展示は盛況だったようです。

また、会期中の**出展者プレゼンテーション**にもPatSnapは登壇しました。9月11日・12日のセミナーセッションでは、PatSnap社の担当者が「**新AI Agentによる知財ソリューションの強化**」をテーマに発表を行っています<sup>32</sup>。この中で**PatSnap Analyticsの新機能紹介**として、AI要約や新規性調査、クレーム作成支援、Markush自動分類といった最新機能をデモしつつ、生成AIが知財業務にもたらす変革について解説しました<sup>5</sup>。さらにゲスト講演として**コベルビジネスパートナーズ株式会社**の調査担当者が登壇し、実際にEurekaやAnalyticsを活用して研究開発テーマの立案や技術調査を行った事例を紹介しています<sup>19</sup><sup>20</sup>。こ

のユーザ事例発表により、単なる製品紹介に留まらず**具体的な導入効果**が示された点は来場者にとって非常に参考になったようです。

展示会公式パンフレットにもPatSnapの出展内容が詳述されています。それによれば、PatSnapは「AI Agents ‘Eureka’」を新製品として前面に押し出し、**分野特化型LLMと業界検証済みデータに基づき専門家レベルの情報分析を数分で提供できる**ことを強調しています<sup>2</sup>。加えて、170か国以上・2億件超の特許・非特許文献データを収録する「PatSnap Analytics」によるグローバル特許検索・分析機能、創薬データ統合検索ツール「Synapse」や生物配列解析システム「Bio」、化合物探索システム「Chemical」といった**イノベーション支援プラットフォーム群**を一括展示し、イノベーションのライフサイクル全体をカバーするソリューション提供企業であることを来場者にアピールしていました<sup>33</sup><sup>9</sup>。

総じて、2025年の知財・情報フェアにおけるPatSnapは、生成AI時代に対応した知財戦略・R&D支援の**最新プラットフォーム群を披露**し、日本市場における存在感を示したと言えます。発表内容や展示製品からは、「**知財業務の一步先を行くAI活用**」<sup>34</sup>を提案するPatSnapの姿勢が明確に伝わってきます。日本の知財業界全体でも生成AIの活用機運が高まる中<sup>30</sup>、PatSnapのAIエージェント「Eureka」シリーズはそのトレンドを牽引する注目ソリューションとして位置付けられているのです<sup>22</sup>。

#### Sources:

- <sup>22</sup> 「特許・情報フェア&コンファレンス2025」出展者プレゼンテーション資料 - PatSnapがAI Agentシリーズ「Eureka」を発表し、知財・R&D・創薬・材料向けに大型製品群を同時リリース
- <sup>35</sup> <sup>33</sup> 「知財・情報フェア2025」公式サイト 出展者情報 - PatSnap合同会社 出展概要 (AI Agents “Eureka”やAnalytics等の製品紹介)
- <sup>5</sup> 「知財・情報フェア2025」出展者プレゼンテーション資料 - PatSnap最新AI機能 (AnalyticsのAI要約、新規性調査、クレーム作成補助等) の紹介
- <sup>4</sup> <sup>16</sup> JETRO地域・分析レポート (2024年11月) - PatSnap共同創業者インタビュー (独自LLM開発、高精度な回答、国内顧客数と成長率等)
- <sup>36</sup> IPエージェント「Patsnap Eureka新機能ご紹介ウェビナー」 (2025年7月開催) 報告 - 日々進化するPatSnapの新機能紹介とR&Dテーマ立案・技術動向把握におけるEurekaの有用性
- <sup>28</sup> 日本青年会議所 JCI JAPAN TOYP 2025表彰 - PatSnap関係者 Guan Dian氏が経済産業大臣賞受賞 (AIを活用した知財・R&D支援の功績)
- <sup>30</sup> IPSCよろず支援PDF - 知財・情報フェア2025開催概要 (過去最大規模、158社出展・15,207人来場、生成AIが主役テーマ)
- <sup>37</sup> IPエージェント新着情報 (2025年8月8日) - 「2025知財・情報フェア&コンファレンス」に出展決定 (会期・会場案内)
- <sup>31</sup> IPエージェント新着情報 (2025年9月17日) - 「知財・情報フェア2025」ご来場御礼 (PatSnapを活用した最新知財分析の可能性を紹介)

---

<sup>1</sup> <sup>5</sup> <sup>19</sup> <sup>20</sup> <sup>21</sup> <sup>22</sup> <sup>32</sup> 出展者プレゼンテーション 知財・情報フェア&コンファレンス2025

[https://pifc.jp/2025/wp-content/uploads/2025/08/pifc2025presen\\_v5.pdf](https://pifc.jp/2025/wp-content/uploads/2025/08/pifc2025presen_v5.pdf)

<sup>2</sup> <sup>3</sup> <sup>8</sup> <sup>9</sup> <sup>10</sup> <sup>18</sup> <sup>29</sup> <sup>33</sup> <sup>35</sup> 知財・情報フェア&コンファレンス

[https://www.expo-form.com/united2025/usr\\_detail.php?ucd=86](https://www.expo-form.com/united2025/usr_detail.php?ucd=86)

<sup>4</sup> <sup>7</sup> <sup>12</sup> <sup>13</sup> <sup>14</sup> <sup>15</sup> <sup>16</sup> <sup>17</sup> 日本を目指すシンガポール発SU (1) Patsnap、AIで知財活用を変革 | 地域・分析レポート - 海外ビジネス情報 - ジェトロ

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/74798653019de35f.html>

<sup>6</sup> <sup>25</sup> <sup>26</sup> IP情報：IPニュース【日本・PCT】 | 特許調査・外国出願・特許翻訳の株式会社IPエージェント

<https://www.ip-agent.biz/topics/?category=1&subcategory=4>

11 23 24 34 36 Home - 特許調査・patsnap・外国出願・特許翻訳の株式会社IPエージェント

<https://ip-agent.com/?pos=2&category=1&subcategory=4>

27 37 「2025知財・情報フェア&コンファレンス」に出展決定 - 特許調査・patsnap・外国出願・特許翻訳の株式会社IPエージェント

<https://ip-agent.com/archives/143>

28 JCI JAPAN TOYP 2025 若者の挑戦たたえ飛躍を後押し | NIKKEI THE PITCH

<https://pitch.nikkei.com/library/54/>

30 2025知財・情報フェアにおける『AI特許ロケット』出展の詳細調査

<https://yoroziuipsc.com/uploads/1/3/2/5/132566344/104c6d2891b753862339.pdf>

31 「2025知財・情報フェア&コンファレンス」ご来場の御礼

<https://ip-agent.com/archives/338>